資料２

国語科（現代の国語）学習指導案

指導者　＊＊＊＊

一　日　時　　令和＊年＊月＊日（＊曜日）　第＊時間目（50分）

二　学　級　　第一学年＊組（＊名）

三　単元名　　スピーチで自分が考える学校の魅力を中学生に伝えよう

四　単元の目標

（1）話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。（〔知識及び技能〕（1）のイ）

（2）自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。（〔思考力、判断力、表現力等〕Ａ「話すこと・聞くこと」（1）のイ）

（3）論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。（〔思考力、判断力、表現力等〕Ａ「話すこと・聞くこと」（1）のエ）

（4）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。（学びに向かう力、人間性等）

五　取り上げる言語活動と教材

（1）言語活動

自分の考えについてスピーチをしたり、それを聞いて、同意したりする活動。（〔思考力、判断、表現力等〕Ａ「話すこと・聞くこと」（2）のアを参照）

（2）教材「スピーチで自分を伝える」（『現代の国語』＊＊出版）

六　単元の評価規準

（1）話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。（知識・技能）

（2）「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。（思考・判断・表現）

（3）「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。（思考・判断・表現）

（4）自分の考えについてスピーチをしたり、それを聞いて、同意したりする活動を通して、話の構成や展開を工夫しようと粘り強く取り組み、自らの学習を改善しようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

七　指導観

（1）単元観

スピーチをすることによって、目的や場に応じた的確な話し方を学習することができ、スピーチを聞き評価をすることによって、話の内容を適切に聞き取る方法を学ぶことができる。

（2）学習者観

学習態度は真面目であり、落ち着いて授業に臨むことができるが、受け身の姿勢が強い。また、ＳＮＳ上での自己表現は慣れているが、人前で自分の言葉で発言することに抵抗がある生徒が少なくない。スピーチをし、聞く活動を通して、主体的に学習に取り組む態度や、人前で話すことに対する自信をつ付させたい。

（3）教材観

話したり聞き取ったりする能力を育てるだけではなく、相互評価することによって、互いを認め合い、自己有用感を醸成することにもつながる教材である。他者を尊重する意識の向上などよい影響をもたらすこ

資料２

とを期待したい。

八　単元の指導計画（配当時間３時間）

次 時間	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点 ＊生徒への支援の手だて	評価上の留意点 ◇観点　□点検・確認■分析 ＊「努力を要する状況」と評価した生徒への支援の手だて
第１次 1時間	・ワークシートを用い、スピーチをする際の効果的な方法について知る。 ・スピーチ原稿を作成する。 ・スピーチメモを作成する。	・話すための原稿であることに留意して適切な言葉を選択させる。 ・中学生三年の時に自分が本校について知りたかったことや現在感じている本校の魅力を整理させる。	◇（知） □「行動の観察」（机間指導） ＊原稿の作成がうまく進まない生徒には、「ワークシート」の構成メモを活用してスピーチの内容を組み立てるように助言をする。
第２次 1時間	・発表上の注意点を確認する。 ・二人組（隣同士）で発表し合い、練習する。 ・五人班で発表し合い、相互評価をする。 ・班の代表者を決める。	・「評価シート❶」を配布して、発表上の注意事項を確認させる。 ・実際に声に出して読み、話しにくい言葉があれば推敲させる。 ＊ペアの人の助言を基によりよいスピーチとなるように工夫させ、粘り強く取り組ませる。 ・一人の発表が終わるごとによい点や改善した方がいい点を指摘させる。 ・タブレット端末で発表を撮影し、次時の学習活動に備えさせる。	◇（知）（思）（態） □「行動の確認」（スピーチ） ＊ペアの人の助言を参考にさせる。 ＊「評価シート」の評価の観点表に留意して相互評価をさせる。
第３次 1時間	・全体発表に向けて、班員で代表者のスピーチの改善を図る。 ・班の代表者による全体発表を行い、相互評価をする。 ・振り返りを行う。	・「評価シート❶」の記述内容や前時に撮影した動画を利用させる。 ・一人の発表が終わるごとによい点や改善した方がいい点をまとめさせる。 ・全体の振り返りをして、活動を通して学んだ点を確認させる。	◇（知）（思）（態） ■「行動の分析」（スピーチ） ■「記述の分析」（評価シート❷） ＊「評価シート」の評価の観点表に留意して相互評価をさせる。

九　本時の目標

中学生に学校の魅力を伝えるための的確なスピーチをし、それを適切に聞いて評価することができる。

十　本時の評価規準

中学生に学校の魅力を伝えるための的確なスピーチをし、それを適切に聞いて評価しようとしている。

十一　本時**（全3時間中の3時間目）**の指導

資料２

学習段階	学習内容	学習活動	言語活動における指導上の留意点
導入（５分）	・本時の学習内容を知り、班活動の準備をする。	①本時の目標と言語活動について確認する。	①班で改善をした代表者のスピーチの評価が班員の評価となることを理解させる。
展開（40分）	・全体発表に向けて、班員で代表者のスピーチの改善を図る。 ・班の代表者が全体に向けて発表する（一人２分以内）。 ・発表に対する評価をする（１分程度）。 ・本時の内容の振り返りをする。	②評価シート❶の記述内容や前時に撮影した動画を利用しながら代表者のスピーチを改善する。 ③代表者は前に出てスピーチを行う。 ④聞き手は評価シート❷に評価を記入する。 ⑤本時の「振り返り」を記入する。	②評価の観点を意識させてよいスピーチとは何か改めて考えさせる。 ③教員が司会と計時を行う。 ■スピーチをルーブリックにより評価する。 ④よかった点だけではなく、改善点についても記入させる。 ■評価シート❷を基にルーブリックにより評価する。 ⑤表面的な感想ではなく、本単元で学んだことや今後どのような場面で活かしていけるか考えさせる。
終結（５分）	・本単元の内容を振り返る。	⑥「振り返り」の結果を班で伝え合う。 ⑦新しい単元に入ることを確認する。	⑥スピーチと同じように、聞き手を意識した伝え方をさせる。

十二　ルーブリック

※教師用

観点	A	B	C
考えを的確に話す（思考・判断・表現）	論拠を明確にして伝え、話の構成や展開を工夫し、説得力をもって相手に自分が考える本校の魅力を伝えることができている。	論拠を明確にして伝え、相手に自分が考える本校の魅力を伝えることができている。	相手に自分が考える本校の紹介をすることができている。
分かりやすく適切に話す（知識・技能）	目線、言葉遣い、声の大きさ、話す速さ、間の取り方、持ち時間を十分配慮して話すことができている。	目線、言葉遣い、声の大きさ、話す速さを配慮して話すことができている。	言葉遣い、声の大きさ、または話す速さに配慮して話すことができている。
適切に聞き取り評価をする（思考・判断・表現）	適切な態度や姿勢で発表を聞き、内容や表現について評価し、よい点と改善点を考えることができている。	適切な態度や姿勢で発表を聞き、内容や表現を評価し、よい点を考えることができている。	適切な態度や姿勢で発表を聞き、内容や表現を評価することができている。

資料２

※生徒用

観点	A評価のキーワード	B評価のキーワード	C評価のキーワード
①考えを的確に話す	「魅力と感じる理由が明確」＋「話の構成や展開の工夫」＋「説得力がある」	「魅力と感じる理由が明確」	A・B評価のキーワードがなく、学校の紹介のみ
②分かりやすく適切に話す	「目線」＋「言葉遣い」＋「声の大きさ」＋「話す速さ」＋「間の取り方」＋「持ち時間」	「目線」＋「言葉遣い」＋「声の大きさ」＋「話す速さ」	「言葉遣い」ｏｒ「声の大きさ」ｏｒ「話す速さ」
③適切に聞き取り評価をする	「適切な態度や姿勢で聞く」＋「内容や表現について評価する」＋「よい点を考える」＋「改善点を考える」	「適切な態度や姿勢で聞く」＋「内容や表現について評価する」＋「よい点を考える」	「適切な態度や姿勢で聞く」＋「内容や表現について評価する」

※スピーチについての評価方法は次の通りとする。

①第２次のグループ内発表のスピーチで全員の評価をつける‥行動の確認

②①の評価を担保したうえで、第３次の代表者のスピーチの評価を最終的な班員全員の評価とする‥行動の分析

十三　御高評

資料２

「学校の魅力をスピーチで伝えよう」ワークシート✏

一年　組　番　氏名

★スピーチに挑戦して、人前で話をする際の効果的な方法と聞き取り方について学習しよう！

⓪**【単元の内容：＊＊高校の魅力を中学生にスピーチする】**

①スピーチの準備

★テーマや持ち時間を確認し、相手意識、場面意識、目的意識をもつ

○テーマ：＊＊高校の魅力について

○持ち時間：２分以内

○相手：学校見学会に来た中学生（実際はクラスメイト）

○場面（状況）：教室（学校見学会を想定）

○目的：＊＊高校の魅力を伝え、更に興味・関心をもってもらう

⇧

目的達成のために

（１）＊＊高校の魅力は何か？書き出してみよう。

〈例〉部活動が熱心　行事が盛り上がる　勉強に一生懸命　落ち着いた環境　ｅｔｃ．

（２）話す順番を考えてスピーチの内容を構成する

★聞き手への問いかけから始める

：問いかけられた事柄に対して話し手はどう答えるのか、聞き手が興味・関心をもちながら聞くことにつなげやすくなる。

★先に主題を示す

：示された主題に対して、話し手はどういう理由でそのように考えるのか、聞き手が興味・関心をもちながら聞くことにつなげやすくなる。

★魅力について経験談などの根拠を入れる：現役生の声＝中学生が一番欲しい情報：説得力が増す！

【構成メモ】に話す内容を書き、順番に並べ替えてスピーチ原稿の作成につなげよう

【構成メモ】

資料２

②スピーチ原稿を作る

★字数は六百字程度（人が話す速度は通常、一分間で三百字程度）。

★話すための原稿であることや、相手、場面、目的に留意し、適切な言葉を選択する。

600 500 400 300 200 100

資料２

③スピーチメモを作る

★スピーチの本番では原稿を読み上げるのではなく、スピーチメモを基に話すことに挑戦する。

＝手元を見ずに前を向いて話すことができる。

★スピーチ原稿を基にスピーチの「流れ」や、「内容の要点」、「話す際のポイント」をメモにまとめる。

「流れ」：構成の順番を書く　「内容の要点」：キーワードやキーセンテンスを書く。

「話す際のポイント」：「間をしっかり取るところ」など特に注意することを書く。

MEMO

流れ	始めの挨拶		終わりの挨拶
内容の要点			
話す際のポイント			

資料２

「学校の魅力をスピーチで伝えよう」評価シート❶

一年　　組　　番　　氏名

【班内での発表について】

◎発表の形式：１班５人編成

◎発表の流れ

発表（２分以内）→評価シート記入（１分）→班でアドバイスの共有（３分程度）を５回繰り返す。

◎発表上の注意事項

発表者：「目線」、「言葉遣い」、「声の大きさ」、「話す速さ」、「間の取り方」、「持ち時間」に留意。

聞き手：発表者の方へ目を向けて、聞いている姿勢を示す。

聞き手は左記①・②・③の【評価の観点表】を基に評価をする。

①と②は**発表者に対する評価**。③は発表を聞いての**自己評価**。

発表者に対するアドバイスもできるようによく聞く。

【評価の観点表】

観点	Ａ評価のキーワード	Ｂ評価のキーワード	Ｃ評価のキーワード
①考えを的確に話す	「魅力と感じる理由が明確」＋「話の構成や展開の工夫」＋「説得力がある」	「魅力と感じる理由が明確」	Ａ・Ｂ評価のキーワードがなく、学校の紹介のみ
②分かりやすく適切に話す	「目線」＋「言葉遣い」＋「声の大きさ」＋「話す速さ」＋「間の取り方」＋「持ち時間」	「目線」＋「言葉遣い」＋「声の大きさ」＋「話す速さ」	「言葉遣い」ｏｒ「声の大きさ」ｏｒ「話す速さ」
③適切に聞き取り評価をする	「適切な態度や姿勢で聞く」＋「内容や表現について評価する」＋「よい点を考える」＋「改善点を考える」	「適切な態度や姿勢で聞く」＋「内容や表現について評価する」＋「よい点を考える」	「適切な態度や姿勢で聞く」＋「内容や表現について評価する」

【評価表】✎

発表者（　　　　　　）さん

観点	評価	発表者に対するアドバイス（よかった点・改善するとよい点）
①考えを的確に話す	Ａ・Ｂ・Ｃ	【よかった点】
②分かりやすく適切に話す	Ａ・Ｂ・Ｃ	
③適切に聞き取り評価をする	Ａ・Ｂ・Ｃ	【改善するとよい点】

資料２

発表者（　　　　　　　　　）さん

観点	評価	発表者に対するアドバイス（よかった点・改善するとよい点）
①考えを的確に話す	A・B・C	【よかった点】
②分かりやすく適切に話す	A・B・C	
③適切に聞き取り評価をする	A・B・C	【改善するとよい点】

発表者（　　　　　　　　　）さん

観点	評価	発表者に対するアドバイス（よかった点・改善するとよい点）
①考えを的確に話す	A・B・C	【よかった点】
②分かりやすく適切に話す	A・B・C	
③適切に聞き取り評価をする	A・B・C	【改善するとよい点】

発表者（　　　　　　　　　）さん

観点	評価	発表者に対するアドバイス（よかった点・改善するとよい点）
①考えを的確に話す	A・B・C	【よかった点】
②分かりやすく適切に話す	A・B・C	
③適切に聞き取り評価をする	A・B・C	【改善するとよい点】

【スピーチ発表を終えての振り返り】

★私の推し（　　　　　　　　　）さん

・推した理由

★自分の発表の反省（よかった点・改善するとよい点など具体的に書く）

資料２

「学校の魅力をスピーチで伝えよう」評価シート❷

一年　組　番　氏名

【代表者による発表について】

◎発表の形式：班の代表者が前に出て発表する

◎発表の流れ

発表（２分以内）→評価シート記入（１分）を８回繰り返す。

◎発表上の注意事項

発表者：「目線」、「言葉遣い」、「声の大きさ」、「話す速さ」、「間の取り方」に留意。

聞き手：発表者の方へ目を向けて、聞いている姿勢を示す。

聞き手は左記①・②・③の**【評価の観点表】**を基に評価をする。

①と②は**発表者に対する評価**。③は発表を聞いての**自己評価**。

発表者に対するアドバイスもできるようによく聞く。

【評価の観点表】

観点	A評価のキーワード	B評価のキーワード	C評価のキーワード
①考えを的確に話す	「魅力と感じる理由が明確」＋「話の構成や展開の工夫」＋「説得力がある」	「魅力と感じる理由が明確」	A・B評価のキーワードがなく、学校の紹介のみ
②分かりやすく適切に話す	「目線」＋「言葉遣い」＋「声の大きさ」＋「話す速さ」＋「間の取り方」	「目線」＋「言葉遣い」＋「声の大きさ」＋「話す速さ」	「言葉遣い」ｏｒ「声の大きさ」ｏｒ「話す速さ」
③適切に聞き取り評価をする	「適切な態度や姿勢で聞く」＋「内容や表現について評価する」＋「よい点を考える」＋「改善点を考える」	「適切な態度や姿勢で聞く」＋「内容や表現について評価する」＋「よい点を考える」	「適切な態度や姿勢で聞く」＋「内容や表現について評価する」

【代表者のスピーチに向けての準備】

◎班内で代表者のスピーチをよりよいものにするために協力する。

：評価シート❶の記録やタブレット端末の動画を利用する。

↓

代表者による発表

＝

※代表者のスピーチの評価を班員全員の最終的なスピーチの評価とする。

資料２

【評価表】✎

発表者（　　　　　　　）さん

観点	評価	発表者に対するアドバイス（よかった点・改善するとよい点）
①考えを的確に話す	A・B・C	【よかった点】
②分かりやすく適切に話す	A・B・C	
③適切に聞き取り評価をする	A・B・C	【改善するとよい点】

発表者（　　　　　　　）さん

観点	評価	発表者に対するアドバイス（よかった点・改善するとよい点）
①考えを的確に話す	A・B・C	【よかった点】
②分かりやすく適切に話す	A・B・C	
③適切に聞き取り評価をする	A・B・C	【改善するとよい点】

発表者（　　　　　　　）さん

観点	評価	発表者に対するアドバイス（よかった点・改善するとよい点）
①考えを的確に話す	A・B・C	【よかった点】
②分かりやすく適切に話す	A・B・C	
③適切に聞き取り評価をする	A・B・C	【改善するとよい点】

発表者（　　　　　　　）さん

観点	評価	発表者に対するアドバイス（よかった点・改善するとよい点）
①考えを的確に話す	A・B・C	【よかった点】
②分かりやすく適切に話す	A・B・C	
③適切に聞き取り評価をする	A・B・C	【改善するとよい点】

資料２

発表者（　　　　　　）さん

観点	評価
①考えを的確に話す	A・B・C
②分かりやすく適切に話す	A・B・C
③適切に聞き取り評価をする	A・B・C

発表者に対するアドバイス(よかった点・改善するとよい点)	
【よかった点】	【改善するとよい点】

発表者（　　　　　　）さん

観点	評価
①考えを的確に話す	A・B・C
②分かりやすく適切に話す	A・B・C
③適切に聞き取り評価をする	A・B・C

発表者に対するアドバイス(よかった点・改善するとよい点)	
【よかった点】	【改善するとよい点】

発表者（　　　　　　）さん

観点	評価
①考えを的確に話す	A・B・C
②分かりやすく適切に話す	A・B・C
③適切に聞き取り評価をする	A・B・C

発表者に対するアドバイス(よかった点・改善するとよい点)	
【よかった点】	【改善するとよい点】

発表者（　　　　　　）さん

観点	評価
①考えを的確に話す	A・B・C
②分かりやすく適切に話す	A・B・C
③適切に聞き取り評価をする	A・B・C

発表者に対するアドバイス(よかった点・改善するとよい点)	
【よかった点】	【改善するとよい点】

資料２

【代表者による発表を終えての振り返り】

★私の推し（　　　　　　　　　　　）さん

・推した理由

【単元の振り返り：「学校の魅力をスピーチで伝えよう」の学習を終えて】

・「身に付いたと思うこと」を具体的に書く

・「身に付いたと思うこと」を今後どのような場面で生かすことができるか書く

・今後どのような「話すこと」「聞くこと」についての学習をしたいと思うかを理由とともに書く